変化する社会や他者と課題解決を図るためには，どのような視点を持ち実社会で活躍できるようにするか考察する

はじめに

北海道岩見沢農業高等学校は，明治40年（1907年）の札幌農学校の大学昇格に伴い中等農業教育の後継として，農業者育成を主たる目的として開設された。開校時は農科と獣医科の2科を設置した。現在は，農業科学科をはじめとした7学科の学校である。

スクール・ミッション（社会的役割等）

1 変化する社会に対応するため，幅広い知識と教養を身に付け，他者と協働して課題解決 を図ろうとする生徒を育成する。
2 グローバルな視点をもち，実社会で活躍できる生徒を育成する。

学校と地域の連携協働体制

普段の実習で製造したもののうち，形などが悪く製品にできなかったものをどうにかできないか？

SDGs

地元事業所にアプローチ

生徒による企画

地元事業所の賛同

岩見沢農業高校　食品科学科

地域課題を解決するための多様な活動

どのような
材料が妥当か

地元事業所が
準備する材料

どのような製
品にするか

岩見沢農高
- 野菜
- 肉製品
- 乳製品
- 農産加工品

事業所
- ワイン
- パイ生地
- タマネギ

地元事業所との商品開発

岩見沢農業高校　食品科学科

地域や生徒の変容・まとめ

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

環境に良い産業化に向けた技術解決策への理解

12 つくる責任 つかう責任

資源利用・環境コストの削減，消費者への情報提供

13 気候変動に具体的な対策を

再生可能なエネルギーとして副産物の利用

岩見沢農業高校　食品科学科